

高校歴史総合プリント（過去問類似）

近代化と私たち No.10

名前

得点

/10

問1 19世紀前半、ロシアは南下政策を進める中でカフカス地方への進出を図り、カジャール朝と交戦した。この結果、1828年に締結され、ロシアが東アルメニアを獲得するとともに、カジャール朝に対して領事裁判権を認めさせた条約は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. アドリアノーブル条約 2. ウンキヤル＝スケレッシ条約 3. トルコマンチャーイ条約 4. サン＝ステファノ条約

問2 幕末から明治期にかけて活動したある土佐藩出身の政治家は、坂本龍馬らの影響を受けて、前藩主の山内豊信を通じて将軍徳川慶喜に大政奉還を建白し、これを実現させた。維新後は新政府の参議となったが、征韓論をめぐる対立で下野し、板垣退助らとともに民撰議院設立建白書を提出して自由民権運動の端緒を開いた。この人物は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 後藤象二郎 2. 西園寺公望 3. 大久保利通 4. 板垣退助

問3 19世紀後半のメキシコではディアスが大統領となり近代化が進められたが、これと同時代の1865年に、自由貿易を求める南部と保護貿易を求める北部の対立や奴隷制の存廃問題を背景に発生し、北部の勝利によって終結したアメリカ合衆国の内戦は何か。（2010年 全国公立入試 類似）

1. 米西戦争 2. 南北戦争 3. 米墨戦争 4. 米英戦争

問4 19世紀初頭、トラファルガーの海戦で敗れたフランスの皇帝が、軍事的に屈服させることが困難なイギリスに対して経済的な打撃を与えるために発した、ヨーロッパ大陸諸国とイギリスとの通商・通信を全面的に禁止した勅令は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 対仏大同盟 2. 武装中立同盟 3. 大陸封鎖令 4. 農奴解放令

問5 1866年、江戸幕府は処分に従わない西国の有力雄藩を再討伐するための軍事行動を起こした。しかし、直前に薩摩藩と密約を結び、大村益次郎らの指導のもとで近代的な兵器や軍制を整えていた相手側の前に、幕府軍は各地で敗北を喫した。将軍徳川家茂の急死も重なって幕府側の失敗に終わり、その権威失墜を決定づけたこの歴史的事件は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 第2次長州征討 2. 鳥羽伏見の戦い 3. 第1次長州征討 4. 甲州勝沼の戦い

問6 明治時代の自由民権運動期において、高知県出身の思想家であり、主権在民や一院制のほか、政府の圧政に対する人民の抵抗権・革命権を明記した極めて民主的な私擬憲法「東洋大日本国国憲案」を起草した人物は誰か。（2008年 全国公立入試 類似）

1. 馬場辰猪 2. 植木枝盛 3. 矢野文雄 4. 中江兆民

問7 明治中期の日本では、資本主義の発達に伴い労働環境の悪化が問題視されるようになった。1897年に労働組合期成会が設立されたが、この組織の結成を片山潜らとともに主導し、日本の初期労働運動の先駆者となった人物は誰か。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 西川光二郎 2. 安部磯雄 3. 幸徳秋水 4. 高野房太郎

問8 明治政府が不平等条約の改正に向けた予備交渉や欧米の先進的な制度・文化の視察を目的に派遣した使節団である。アメリカ合衆国やヨーロッパ諸国を巡った後、1869年に開通したばかりの運河を通過してアジア経由で帰国した。この使節団の名称として最も適当なものを答えよ。（2023年 全国公立入試 類似）

1. 遣米使節団 2. 遣唐使節団 3. 岩倉使節団 4. 遣欧使節団

問9 学校唱歌『蛍の光』の1908年改訂版の歌詞には、日清戦争の結果として日本が新たに領有した台湾が反映されている。この台湾の割譲を清国に認めさせ、現地の武装抵抗運動を招く契機となった、1895年に結ばれた講和条約は何か。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 漢城条約 2. 天津条約 3. 乙巳条約 4. 下関条約

問10 19世紀半ばのイランでは、ロシアやイギリスなどの外国勢力の進出にともなう社会不安を背景に、シーア派から派生した新宗教の信徒たちによる大規模な反乱が発生した。カージャール朝政府によって鎮圧された、この反乱の名称として最も適当なものを答えよ。（2006年 全国公立入試 類似）

1. ワッハーブの反乱 2. ウラービーの反乱 3. マフディーの反乱 4. パーブ教徒の反乱

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 3 トルコマンチャーイ条約	1826年から始まった第二次ロシア・ペルシア戦争において、ロシアはカジャール朝に勝利した。1828年に締結されたこの条約により、ロシアは東アルメニアを割譲されてカフカス地方における支配権を確立した。また、ロシアに対する領事裁判権の承認など、カジャール朝にとって不平等な内容が含まれており、その後のイランの半植民地化の契機となった。
問2	答え 1 後藤象二郎	土佐藩出身のこの人物は、坂本龍馬の「船中八策」をもとに、前藩主の山内豊信（容堂）を説得して將軍徳川慶喜への大政奉還建白を行わせた。維新後は新政府の参議となったが、1873年の明治六年の政変（征韓論争）で下野し、板垣退助や江藤新平らとともに民撰議院設立建白書を提出して自由民権運動を推進した。
問3	答え 2 南北戦争	19世紀後半の同時代史に関する問題である。アメリカ合衆国では、産業資本主義の発達した北部と、綿花プランテーションと奴隷制に依存する南部の対立が激化し、1861年から内戦が勃発した。この戦争は1865年に北部の勝利で終結し、国家の統一が維持されるとともに、奴隷制の廃止や国内市場の統一が進み、その後の急速な工業化の基盤となった。メキシコでディアスが大統領に就任した19世紀後半と同時代の出来事である。なお、ブラッシーの戦いは18世紀半ば、米英戦争は19世紀初頭、アヘン戦争は19世紀半ばの出来事であり、時期が異なる。
問4	答え 3 大陸封鎖令	トラファルガーの海戦でイギリス海軍に敗れたナポレオン1世は、イギリスを経済的に孤立させるため、1806年にベルリンでこの勅令を発した。しかし、イギリスに穀物を輸出していたロシアなどがこれに違反したため、のちのロシア遠征を招く原因となった。
問5	答え 1 第2次長州征討	1866年に江戸幕府が長州藩を再討伐するために起こした軍事行動である。長州藩は直前に薩摩藩と薩長同盟を結んでおり、イギリスから購入した近代的な兵器や、奇兵隊などの諸隊を組織した軍制によって幕府軍を圧倒した。さらに、征長総督であった將軍徳川家茂が大坂城で急死したことも重なり、幕府軍は敗退を余儀なくされた。この敗北により幕府の権威は完全に失墜し、倒幕への動きが加速することとなった。
問6	答え 2 植木枝盛	明治時代の自由民権運動において、土佐（高知県）出身の思想家である植木枝盛は、私擬憲法の一つである「東洋大日本国国憲案」を起草した。この草案は、人民の主権（主権在民）や一院制を唱えただけでなく、政府が暴政を行った場合の抵抗権や革命権（顛覆権）を認めるなど、当時の私擬憲法の中でも極めて民主的かつ急進的な内容を含んでいたことで知られる。
問7	答え 4 高野房太郎	高野房太郎はアメリカの労働運動を学び帰国した後、1897年に片山潜らとともに労働組合期成会を結成し、労働者の待遇改善や労働組合の結成を支援した。秩父事件（1884年）などの自由民権運動の激化事件や、大正期以降に登場する俸給生活者の動向とは時代背景が異なる。
問8	答え 3 岩倉使節団	岩倉具視を特命全権大使とし、木戸孝允、大久保利通、伊藤博文らが参加した使節団は、1871年から1873年にかけて欧米諸国を巡った。帰路には開通したばかりのスエズ運河を通過し、アジア各地を経由して帰国した。
問9	答え 4 下関条約	日清戦争の講和条約である下関条約によって、日本は清から台湾や澎湖諸島などを割譲された。台湾の領有に際しては、現地で台湾民主国の建国が宣言されるなど、日本軍に対する激しい武装抵抗運動が展開された。この領土拡張を背景に、学校唱歌『蛍の光』の歌詞も改訂された。
問10	答え 4 パーブ教徒の反乱	19世紀半ばのイラン（カージャール朝）では、欧米列強の進出による社会の動揺を背景に、サイイド・アリー・ムハンマドが創始したシーア派系の新宗教の信徒たちが反乱を起こした。この運動は社会改革的な性格も帯びていたが、政府軍によって鎮圧された。